

One Control STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K

User Guide ユーザーガイド
CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、ストロベリーレッドオーバードライブオンキーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮するため、
また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。



“そして伝説は生まれた。”

“Over Drive”というエフェクターが初めて誕生してから数十年。これまでいったいどれだけのオーバードライブペダルが作られてきたでしょうか。

今、オーバードライブは、エフェクターの領域を超え、ギターアンプの領域へと踏み出します。

STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K (SROD4K) のアイデアは、どんなアンプとスピーカーのコンビネーションであっても、どんなピックアップでもローゲインからミディアムゲインオーバードライブ、ディストーションへ、また歪んだアンプや他の歪みペダルをさらにプッシュできることを目指した。SROD4Kの音は、これまでマーケットで聞いてきたどのオーバードライブとも異なっている。マッスルなオーバードライブだが、同時に古い音も出せる、ほんとうの意味でヴァーサタイルだ。

SROD4KのEQオプションは、ライブやレコーディングで実際に使用する範囲に抑え、極端な設定をあえて排除することで、より詳細に様々な状況に対応できるようになった。

SROD4Kはミニチュアサイズだから、例えば飛行機の手荷物の中にも入る。どこにでも気軽に持ち歩けるから、いつでも最良の音色を使うことができるだろう。

——Bjorn Juhl

●コントロール

- ・VOLUME: 音量を調整します。
- ・TREBLE: 中域～高域の音色を調整します。
- ・DRIVE: 歪みの強さを調整します。
- ・LOW: 低域の出方を調整します。

※ON時にDRIVEを動かすとカサカサとノイズが出ることがありますが、回路上の仕様によるものです。

●Specification

インプットインピーダンス: 390K
アウトプットインピーダンス: 50K
駆動電圧: 9V～18V
消費電流: 10.7mA
S/N比: -90dB
サイズ: 39Wx100Dx31H mm(突起含まず)
47Wx100Dx48H mm(突起含む)
重量: およそ 160グラム(電池挿入時 200グラム)

One Control STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K

User Guide ユーザーガイド
CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、ストロベリーレッドオーバードライブオンキーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮するため、

また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。

One Control STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K は、今すでに存在する機材の音色を模したものではありません。その機材がどれほど素晴らしい、どれほど高級機材であったとしても、その音色を目標にしてしまえば、それはシミュレーターです。高度なシミュレーターの開発にも崇高な精神が必要ですが、それでは真のオリジナルオーバードライブペダルにはなり得ません。

STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K は、あらゆるジャンルのあらゆるギタリストが求めるオーバードライブを目指して開発をスタートさせました。そのためには、どんなギタリストにとっても必要な機材であることが重要です。ギタリストであれば誰もが使う機材。もちろんギター本体、そしてギターアンプです。特に上質のギターアンプは、どんなギタリストでも求める究極の機材です。

では、上質のギターアンプが上質のギターアンプであるために必要な音色特性を備えたオーバードライブがあったとしたら。一口に上質のギターアンプと言っても、当然、モデルによりそれぞれ音色の違いがあります。しかし、どんなギターアンプにも、“良い音”と言われるモデルには共通する音色特性が存在しています。そして、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K の回路設計を行った B.J.F は、それを熟知していました。

- ・ギターサウンドの核となる部分を刺激するペダルであること
- ・どんなギター、アンプにつないでも、常にギタリストが欲しい音を出力すること
- ・ギターやアンプ、エフェクターなど、他の機材の持つ特性を最大限に活かすこと
- ・完全なクリーンから強い歪みまでをカバーすること
- ・プレイヤーが手元で行った表現を余すことなく拾い上げること
- ・その上で、細かな音色調整ができること

これらの条件は、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K を作る上で絶対に妥協できませんでした。

STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K は、完全なクリーンブーストからローゲインでプルージーなオーバードライブ、迫力あるハードオーバードライブ、さらに強力なディストーションの領域まで、DRIVE ノブ 1 つでコントロールできます。

DRIVE を最小に絞れば完全なクリーンブースターとなります。この時、VOLUME ノブで最大+6dB までのブーストが得られます。

また、一度ゲインを設定すれば DRIVE ノブを動かさずとも、ギター側のボリュームを絞れば即座にゲインを下げるすることができます。STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K の DRIVE を上げ、ギター側のボリュームを下げた時のクリーンサウンドは倍音成分が豊かで厚みのあるセンシティブな美しい音色が得られます。これは極上の 1 ボリュームチューブアンプを思い起こさせます。

また、そのレスポンスにより、ゲインを高く設定してもギターやアンプの特性を最大限に発揮します。ピックアップのセレクトスイッチも積極的に活用することで、音色の持つ表情を豊かに変化させられます。

ハイレスポンスでハイダイナミックレンジのオーバードライブペダルは、時に扱いにくい音色になることがあります。STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K は、ギターサウンドの核を常に失わず、重心の密度が高く芯がぶれない音色のため、ギタリストの操作に対しダイナミックに応えながら、常に扱いやすい音色を出力します。

本来、ギターアンプの音色はギタリストが気持ち良い音色となるよう作られています。STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K はどんなアンプを使ってもギタリストが欲しい音になりますが、それは STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K が上質なギターアンプに共通する特性を持っていることを如実に表しています。

STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K の TREBLE コントロールは、ミッド～トレブルを-3dB～+6dB の範囲でコントロールできるアクティブトーンです。TREBLE を絞った際は 70Hz～7KH z の範囲を調整し、TREBLE を高くすれば 700Hz～7KHz の範囲を軽くブーストします。この特性により、倍音成分が強調される煌びやかな歪みから、トレブルをカットした暖かなトーンまで調整できます。どの位置に設定しても極端な音色にはなりませんので、ノブの可変幅を大きく使って詳細に音色を作ることができます。

さらに、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K は、LOW ノブを用意しています。このノブにより、ローエンドをカット・ブーストすることができます。

STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K は迫力のあるタイトなローエンドという、ギターアンプに求められる条件を満たしていますが、組み合わせるギターやアンプ、スピーカーの特性によってローが強くて感じる場合があります。そんな時には、LOW ノブを調整することでローエンドアンプに合わせて調整することができます。

●エフェクターとしての扱いやすさ

仮に、どれほど素晴らしい特性のオーバードライブペダルを作ったとしても、それが専用のコンセントで駆動し、サイズがアンプヘッドと変わらないものだとしたら、それはプレイヤーを選んではしまいます。

STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K は、One Control 独自のアルミニウム削り出しによる超小型筐体により、ペダルボードに設置しても余計な場所を取らず、最小限のスペースに置くことができます。

さらに、最小限のサイズながら電池駆動も実現しているため、どんな場所でも STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K のサウンドを堪能することができます。

また、アダプター駆動の場合は 9V～18V までの駆動に対応。高い電圧で駆動させると、さらに広いダイナミックレンジと立体的な音色をお楽しみいただけます。

●チューブアンプをドライブさせる

STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K は、上質のアンプに共通する音色特性を持っています。そのため、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K をチューブアンプに使うことで、アンプの特性をさらに強調し、極上のドライブが得られます。

プリティッシュスタイルのアンプには、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K の TREBLE レンジが完璧にマッチし、アンプの EQ セクションの可能性をさらに押し上げます。さらに音を伸びやかに前に出し、音色の解像度も高まります。特にスタックアンプの場合、アンプ側のゲインを上げると音が潰れがちになりますが、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K でゲインをプッシュし、アンプ側のゲインを上げ過ぎないようにすることで同等のゲインでも高い解像度の音色が得られます。LOW コントロールも効果的に作用し、音色のバランスを調整できます。

アメリカンスタイルのアンプには、アンプの持つブライトな輝きを失うことなく、ゲインを上げてアンプをプッシュすることができます。こういったアンプの場合、時にトレブルが強くなる傾向がありますが、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K の TREBLE コントロールでトーンバランスを適切に設定することができます。アメリカンスタイルのクラシックアンプではなかなか作ることのできない、音が強くまとまったディストーションサウンドも、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K ならば簡単に実現できます。

また、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K はモダンなハイゲインアンプと組み合わせても最高の動きをします。アンプ自体が強く歪むのでオーバードライブなど必要ないと思われるかもしれませんが、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K の持つベースレスポンスと LOW コントロール、および TREBLE コントロールを組み合わせることで、より高解像度な音色が得られます。STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K のゲインとアンプのゲインを組み合わせれば、アンプ側のゲインを少し下げた飽和しすぎる音色を抑えてもハイゲインな迫力を維持し、さらに音を前へ前へと押し進めます。

●トランジスタアンプをドライブさせる

本当に上質なギターアンプに求められる特性は、真空管でもトランジスタでも変わることはありません。

たとえアンプ側がその特性から外れていても、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K の持つ上質なギターアンプに共通する音色特性を活用することで、通常は熟練者にしか作ることのできないような、アンプとギターの限界を引き出すトーンを得ることができます。

特に、大きめのスピーカーを搭載したトランジスタアンプであれば、大出力アンプと大型キャビネットを組み合わせたような、高い突進力と質量を感じられるような音色となります。さらに、STRAWBERRY RED OVERDRIVE 4K 特有のコンプレッションが、トランジスタアンプにもチューブアンプのような特性を与えます。

特に、18V アダプタで駆動させることで、元来のトランジスタアンプでは考えられないほど立体的で奥行きのあるドライブサウンドが得られます。

制作:LEP INTERNATIONAL 〒025-0098 岩手県花巻市材木町 12-19 TEL:0198-23-6600